

令和7年度 第1学年 授業改善推進プラン

台東区立蔵前小学校

1. 児童の学習状況

国語	○相手に自分の思いや考えを言葉で伝えようとする意欲がある。 ○物語文を音読する際、文中の言葉や登場人物の様子から想像したことを表現し、楽しみながら読んでいる。 △語彙が少なく、気持ちや様子を表す言葉が限られている。 △文字や文章を正確に書く力が定着していない。
算数	○数や量に対して興味をもち、日常生活と関わらせて学習に取り組んでいる。 ○加法や減法の計算問題に意欲的に取り組んでいる。 △文章題の場面を読み取り、正しく式を立てて答えを導く力が不足している。 △加法や減法について具体的な場면을式に表したり、結び付けたりすることや、上下・左右に関わるものの位置の理解が不足している。

2. 各教科の具体的な取組

	特に育成を目指す能力	取組
国語	・身近な事柄や気持ち、様子を表す語彙の量を増やし、話や文の中で正しく使う力。 ・自分の思いを言語化する力。 ・文字を正確に書いたり、正しい文章を書いたりする力。	・言葉集めや言葉遊びの活動を日常的に取り入れ、楽しみながら文字を覚えることで、語彙の量を増やせるようにする。 ・学習過程の中で、新しく知り得た言葉や表現を掲示物で書きためていき、言語活動の中で必要に応じて活用できるようにする。 ・ペア活動で音読をし合ったり、考えたことを伝え合ったりする機会を設け、自分の表現や思いを伝える経験を積み重ねていく。 ・絵本の読み聞かせを通して、興味がある本に多く触れさせたり、読書の時間を確保したりすることで、読解力や語彙力を豊かにする。 ・マス黒板や書画カメラを活用し、字形や筆順、促音等を書く場所を確認し、正しく書けるようにする。 ・長音や促音などの表記では、実際に声に出して正しく書けているか確かめる。また、文章を書いたあとに、音読で読み直す習慣をつけ、個々の児童が自然と正しい文章を書けるようにしていく。
算数	・加法や減法の場면을正しく読み取り、立式したり答えを求めたりする力。 ・順序や位置を表す言葉や問題場面に出てくる言葉を理解し、日常生活に活用しようとする力。	・加法では、「ぜんぶで」「あわせて」「のこりは」「ちがいは」などのキーワードに着目させ、問題場면을正しく読み取れるようにする。 ・減法では、「とると」「のこりは」「おおい」「ちがいは」など、デジタル教科書のアニメーション機能を活用し、題意を正しくとらえ、問題に正対した答え方を考えさせる。 ・実際に体を動かす体験や具体物の操作を積極的に取り入れ、個々の学習の理解度を高めることができるようにする。 ・絵や日常の場면을基に、意識して既習の言葉に結び付けたり、算数のキーワードを用いて問題を作ったりする機会を多く設ける。 ・算数ブロックやおはじきなどの具体物を操作したり、半具体物や図に表現したりする活動を多く取り入れ、思考力を育成する。